

アート・ 2013



アート・ ひろしま

ひろしまにかける アート×アーチ

広島市の3つの美術館と
サテライト会場で
「平和」をテーマに
展覧会&イベントを開催！
広島がアートで盛り上がる！

広島県立美術館
「ピース・ミーツ・アート！」

ひろしま美術館
「イサム・ノグチ～その創造の源流～」

広島市現代美術館
「サイト - 場所の記憶、場所の力 -」

→ 10.14th mon

2013.7.20th sat

美術館 × 広島市現代美術館
MUSEUM OF ART × Hiroshima City Museum of Contemporary Art
〈10:00-17:00 | 月曜日休館 ※月曜が祝日の場合、翌日休〉

名勝「縮景園」とともに歩む アートの社
広島県立美術館 × 公益財団法人 ひろしま
Hiroshima Prefectural Art Museum × HIROSHIMA MU
〈9:00-17:00 | 会期中無休 ※金曜日は9:00-20:00〉

美術館、社団法人広島県観光連盟、
平成24年度文化庁文化芸術振興費補助金
文化庁 (文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業)

会場: 広島県立美術館、ひろしま美術館、広島市現代美術館、市内サテライト会場
主催: 広島県美術館活性化対策事業実行委員会 (広島県立美術館、公益財団法人ひろしま美術館、広島市現代
公益財団法人ひろしま文化振興財団、NPO法人セトラひろしま)、中国新聞社
後援: NHK広島放送局、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、FMちゅーピー

スタート! 詳しくは裏面をご覧ください。

5月17日(金)より前売券の販売が

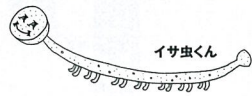
ART ARCH HIROSHIMA

アート・アーチ・ひろしま2013

アートがかける「平和」のアーチ!

世界で最初に原子爆弾が投下された都市、広島市。世界の平和を希求するこの街に立地する広島県立美術館、ひろしま美術館、広島市現代美術館の3館は、このたび、「平和」をテーマとした企画展を同時期に共同開催します。

共同企画展の象徴的アーティストとなるのが、広島に関係の深い彫刻家イサム・ノグチ(1904-1988)です。ノグチは平和大橋、西平和大橋をデザインし、平和記念公園にある原爆慰霊碑の原案も設計しました。「アート・アーチ・ひろしま2013」では、ノグチ自身が平和を願い、戦後広島の復興と再生に深く関与した事実を踏まえながら、ノグチの作品を各館の切り口で展示し、展覧会を構成します。



「ピース・ミーツ・アート!」

「平和」というテーマのもと、時代やジャンルを越えた多彩な作品を展示します。第1章「破壊から再生へ」では、第二次世界大戦や原爆、東日本大震災の災禍に触れつつ、日常の再生を願い生まれてきた作品から、希望の「アーチ」を提示します。第2章「対話」では、自然との対話や、イサム・ノグチなど「越境者」たちの異文化対話の重要性を照らし出します。第3章「未来へのアート・アーチ」では、過去の出来事を乗り越え未来に進んでいくことへのメッセージを発信します。

● 出品作家

イサム・ノグチ、パブロ・ピカソ、石内都、岡本太郎、岸田劉生、土田麦僊、内藤礼、平山郁夫、丸木位里、三宅一生+Reality Lab など



パブロ・ピカソ《ゲルニカ・タバスリー》1983年 群馬県立近代美術館蔵
展示期間:7月20日~9月1日 ©2013・Succession Pablo Picasso・SPDA(JAPAN)



北島昇《クワ・ファディス》1949年 東京国立近代美術館蔵



「イサム・ノグチ ~その創造の源流~」

彫刻からランドスケープ、商業デザインまで、さまざまな造形を手がけたイサム・ノグチ。彼は日系アメリカ人として生まれ、当時の複雑な国際関係の中、それでも「日本」と「アメリカ」、それぞれの「絆」を捨てずに、独自の芸術を開花させました。本展では、このノグチの作品を中心に、プランクシーやコールドター、北大路魯山人など、彼に影響を与えた彫刻家・画家・デザイナーの作品も併せて展示し、その創造の源流を探ります。

● 出品作家

イサム・ノグチ、コンスタンティン・ブランクーシ、アレクサンダー・コールドター、ハンス・ジャン・アルプ、マン・レイ、ジョアン・ミロ、レオナルド・フジタ、北大路魯山人、八木一夫、勅使河原蒼鳳 など



イサム・ノグチ《レダ》1938年、イサム・ノグチ美術館蔵
©2013 The Isamu Noguchi Foundation and Garden Museum/ARS,New York/JASPAR,Tokyo, D0125



コンスタンティン・ブランクーシ《空間の鳥》1926年、滋賀県立近代美術館蔵
©ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2013 D0125

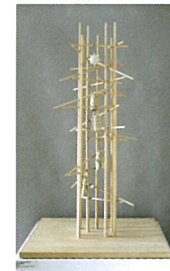


「サイト -場所の記憶、場所の力-」

イサム・ノグチの作品のひとつに、丹下健三から広島平和記念公園のために依頼されながらも完成する機会を見なかった原爆死没者慰霊碑案(1952)があります。この幻の作品を始まりに、本展は「場所(=サイト)」の記憶に触発された美術表現、場所の携える歴史や物語を可視化する作品を、現代のアーティストの試みを中心に紹介していきます。堅固な記念碑とは異なる新しい手法で場所との関わりを形にする表現に注目します。

● 出品作家

川俣正、木村友紀、桑久保徹、西京人(小沢剛+ギムホンソック+チェンジャオジョン)、田口行弘、照屋勇賢、イサム・ノグチ、マイケル・ラコウィッツ、トニコ・ロメス=アウアド など



イサム・ノグチ《広島のためのベルタワー》1950-2004
Photo by Patty Wallace, ©2013 The Isamu Noguchi Foundation and Garden Museum/ARS,New York/JASPAR,Tokyo, D0125



イサム・ノグチ《広島原爆死没者慰霊碑》1952/1991
©2013 The Isamu Noguchi Foundation and Garden Museum/ARS,New York/JASPAR,Tokyo, D0125



マイケル・ラコウィッツ《見えない敷は存在するはずがない(再発見、行方不明、途断シリーズ)》(部分) 2009
Installation at Transmission Interrupted, Modern Art Oxford, Oxford, UK

チケット | 前売券販売:5月17日(金)~

販売所:広島県立美術館、ひろしま美術館、広島市現代美術館、広島県内の主なプレイガイド、画廊・画材店、中国新聞社読者広報部、中国新聞各販売所(取り寄せ)

3館共通券 | 一般1,900円(1,700円) / 高・大学生1,200円(1,000円)
単館券 | 広島県立美術館・広島市現代美術館:一般 800円(600円) / 高・大学生400円(300円)
ひろしま美術館:一般 1,200円(1,000円) / 高・大学生700円(600円)

※()内は前売・団体料金 ※割引制度などについては、各館にお問い合わせください。
※本券で同時期に開催中のコレクション展(所蔵作品展)も鑑賞できます。

特設 HP 最新情報は随時、ホームページにて告知いたします。 <http://art-arch-hiroshima.jp/>

サテライト会場のご案内

広島市内各所にサテライト会場を設け、個性豊かなアーティストたちの作品展示やパフォーマンスイベントを行います。ここでは、その一部を紹介します。詳細は、ホームページなどでご覧ください。



柴川敏之《PLANET ICON》(2000年後に発掘された招き猫の化石) 2008年

- 岡部昌生・柴川敏之~未来の考古学**
9月26日(木)~10月14日(月・祝)
会場:ギャラリーてんぐスクエア(広島市中区)
- アリスガーデン パフォーマンス広場AH!**
7月21日(日)、8月17日(土)、9月15日(日)
会場:アリスガーデン(広島市中区)
- 土田ヒロミ 「FUKUSHIMA」**
8月6日(火)~11日(日)
会場:NSA(広島市中区)
- 石内都展**
9月10日(火)~15日(日)
会場:ギャラリーG(広島市中区)



〒730-0014
広島市中区上織町2-22
TEL.082-221-6246
FAX.082-223-1444

<http://www1.hpam-unet.ocn.ne.jp/>



〒730-0011
広島市中区基町3-2(中央公園内)
TEL.082-223-2530
FAX.082-223-2519

<http://www.hiroshima-museum.jp/>



〒732-0815
広島市南区比治山公園1-1
TEL.082-264-1121
FAX.082-264-1198

<http://www.hiroshima-moca.jp/>



3館へのご来館には広島市内循環バス「ひろしま めいぶるーぶ」が便利です。
運行期間:平成25年4月19日(金)~9月30日(月) 運行時間:30分毎(9:00~17:30の間(1日18便運行))

※その他アクセス方法や詳細は、特設ホームページをご覧ください。

3つの美術館の展覧会にくわえ、サテライト展示やイベントも市内各所で開催!